

広報
2019年/令和元年
11月号
-No.164-

くろしお

主な内容

P.2 まちのできごと

P.5 ニュージールランド訪問団

P.8 くろしお子どもニュース

P.12 健康カレンダー

P.15 介護保険ガイド

P.17 役場からのお知らせ

P.21 イベントカレンダー

P.24 図書館カレンダー

写真：第16回土佐さがのもどりガッパ祭
(関連ページ2ページ)

第16回土佐さがのもどりカツオ祭

「第16回土佐さがのもどりカツオ祭」が10月19日(土)、黒潮一番館周辺で開催され、約1万5千人が来場しました。

同祭は、漁師のおかみさんたちが、1年の豊漁と海上安全に感謝する気持ちから平成16年に始まり、開会式では浜岡直春実行委員長から、「今日は美味しいカツオをたくさん食べて楽しんで。そして、また黒潮町にカツオを食べに来てほしい」とあいさつがありました。

今年は、約2トンのカツオが1本売りや「カツオ御膳」などの薫焼きタタキとして販売され、新鮮なカツオを求めて多くの来場者が長蛇の列をなしました。

香川県から訪れ、カツオ御膳を食べたという夫婦は、「分厚いタタキがたくさん盛られていて豪華だし、とても美味しかった。黒潮町は初めて来たのでお土産もたくさん買った」と話しました。

広場では、佐賀保育所の園児や幡多舞人による踊り、佐賀中学校の生徒が薫焼きの実演を行うなど会場を盛り上げました。

そのほかにも、子どもたちを対象にした「カツオの1本釣りゲーム」

ム」、カツオタタキ丼の食べる速さを競う「旨いもの早食い競争」、抽選会や餅投げが行われ、参加したたくさんの方が笑顔で楽しんでいました。



幡多舞人によるよさこいの披露



1本釣りゲームを楽しむ子どもたち



多くの人で賑わう会場

町内保育所・小学校で地震車体験

9月24日(火)から10月7日(月)まで、町内の園児や児童らが地震車による地震の揺れを体験しました。

地震車とは、地震を疑似体験することができ、振動装置を搭載した自動車のことで、高知県では、地震防災対策の啓発や訓練活動の一環として地震の揺れを疑似体験してもらい、日頃の備えを充実させることを目的に地震車の貸し出しを行っています。

9月30日(月)には、三浦小学校の児童らが地震の揺れを体験しました。小学1年生から4年生は体を丸める「ダンゴムシのポーズ」で揺れに耐え頭を守り、5・6年生は震度7の揺れの強さを実感するため、椅子に座り体験しました。体験後、6年生の深木琉生さんは、「地震車は机が固定されていたから机を持って耐えられたけど、家



震度7の揺れを体験する児童ら

や学校の机は固定されていないので、いろいろな工夫をして命を守る行動をした」と話しました。

メキシコの行政官が防災視察

10月7日(月)・8日(火)の2日間、メキシコで防災などを担当する行政官2名と京都大学防災研究所の伊藤善宏准教授が来町し、町の防災の取組などを視察しました。

同視察は、SATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)で、メキシコの研究者と協同で津波災害軽減や防災教育について研究する伊藤准教授のプロジェクトの一環として実施されました。

7日(月)には、行政官らが佐賀中学校を訪問し、全校生徒と津波避難訓練を行いました。

また、8日(火)には、行政官らは大方高校を訪問し、生徒10名がHUG(避難所運営ゲーム)や地域との避難訓練などの防災への取組について発表しました。



生徒と意見交換する行政官ら

行政官のラファエルさんは、「今回の視察で、地区や学校など地域で防災に取り組むことの必要性がわかった。課題も多いが、学んだことをメキシコで実践したい」と話しました。

ランドセルプロジェクト Tシャツアート展 in トンガ

平成29年から町婦人連合会と町PTA連合会が協力し、町内各地から集めたランドセルをトンガへ寄贈する「ランドセルプロジェクト」が今年も実施され、50個のランドセルがトンガの子どもたちへ手渡されました。

同プロジェクトは、平成28年11月に実施された「世界津波の日高校生サミット in 黒潮」でできた諸外国とのつながりを継続することができないかという思いから始まったもので、町内の小・中学校を中心に毎年声掛けを行いランドセルを募っています。



発送前の準備をする関係者ら

集まったランドセルは6月3日（月）、関係者らによって表面を磨くなどの発送前の準備が行われ、代表して3名の町PTA連合会役員が7月、実際にトンガへ渡り寄

贈式に出席。寄贈式には、フィフイタ教育・訓練大臣や在トンガ日本大使館の石井大使らが出席し、ランドセルはヌクアロファ小学校の児童らに寄贈されました。

また、同プロジェクトに合わせ、昨年からはNPO砂浜美術館による「Tシャツアート展」も行われ、トンガ滞在中には、事前に黒潮町の関係者らがメッセージやイラストを書き込んだTシャツへ現地の子どもたちが思い思いのイラストをデザインするワークショップを行ったり、教員養成学校でTシャツの展示をするなど、両国間の交流が深められました。

寄贈式に参加した町PTA連合会役員は、「ランドセルを贈ることとでトンガと黒潮町の繋がりを感じ、遠い国ではあるけれど身近に感じた。



子どもたちと記念撮影

感じた。これからこの交流が長く続けば」と話しました。

ティラーのお菓子づくり交流会

10月5日（土）、保健福祉センターで、「ティラー・アレンのお菓子づくり交流会」が開催され、16名が参加しました。

ティラーさんはアメリカ出身で、8月からCIR（国際交流員）として町で活動しています。同イベントは、お菓子作りを通して参加者と交流し、アメリカの文化やティラーさんについて知ってほしいと町教育委員会が主催しました。

参加者らは、チョコレートパイなど2品を作りました。また、参加した子どもがティラーさんに英語について質問する場面なども見られ、楽しい交流の時間となりました。



参加者らと交流するティラーさん

ティラーさんは、「皆さんが興味を持って参加してくれて良かったです。アメリカ人や私のことをもっと知ってもらえるよう、またこのようないイベントを考えた」と話しました。

佐賀中カツオマイスター 実技発表会

「カツオマイスター育成プログラム」の実技発表会が10月2日（水）、黒潮一番館で行われ、佐賀中学校の生徒5名が家族や友人らの前でカツオのタタキ作りを披露しました。

同プログラムは、ふるさと・キャリア教育の一環としてカツオのタタキ作りの技術を習得し、ふるさと文化を心に刻んでほしいと昨年度から実施され、生徒らは8月から実技講習を計7回受講しました。



真剣な表情でカツオをさばる生徒ら

3年の吉田愛華（まなか）さんは、「魚は苦手だけど、カツオが有名な佐賀に生まれたので、これをきつかけに好きになりたい」と思い挑戦した。おろすのは難しかったけど、段々上手になったと思うし、背びれがすーっと切れたら嬉しかった」と話しました。完成したタタキの試食会も行われ、来場者からは「美味い」と声が上がっていました。

田ノ口小児童らお掃除犬と砂浜清掃

ふるさと・キャリア教育の一環で10月15日(火)、田ノ口小学校の5・6年生15名が「お掃除犬」として知られる犬と一緒に砂浜のゴミ拾いを行いました。

町内でサーフショップを営む新谷信行さんの飼い犬「いくら」が5年ほど前より、散歩中の海岸でペットボトルを拾っていることが話題となり、「自然を楽しんでもらいながら環境のことについても考えてもらえたら」と一緒に砂浜の清掃をすることとなりました。

子どもたちは、いくらを連れながら海岸に落ちたペットボトルなどのゴミや漂流物を拾い、「いくらと一緒に掃除ができて楽しかった。今度海に来た時には自分も積極的にゴミを拾いたい」と話しました。

また同日には、町外から見た黒潮町の魅力を知り、町の良さを認識してもらおうと、子どもたちから移住者へインタビューが行われ、「なぜ黒潮町に来たの」など、質問を



いくらと一緒にゴミを拾う児童ら

しました。

ねりんピックに高知県代表で出場

11月9日(土)から開催される「第31回全国健康福祉祭和歌山大会(ねりんピック)紀の国わかやま2019」に、高知県代表として町内から「グラウンド・ゴルフ」、「ボウリング」、「弓道」の3種目に8名の選手が出場します。

同大会は、高齢者の健康維持や社会参加と生きがいづくりを推進するために行われ、グラウンド・



ゴルフに出場する酒井隆昌^{たかまさ}さんは、「入賞を目標に頑張りたい」と意気込みを示しました。



【弓道/写真左】小橋たか子さん
【ボウリング/写真中】篠田正近さん

【グラウンド・ゴルフ/写真右】酒井隆昌さん、池田章夫さん、森近陽一さん、文野雅允さん、水野一弘さん、山下豊明さん(順不同)



第4回黒潮町民ゴルフ大会

10月5日(土)、「第4回黒潮町民ゴルフ大会」が土佐ユートピアカントリークラブで開催され、212名のゴルファーが参加しました。

同大会は、黒潮町民ゴルフ大会実行委員会が主催し、「黒潮町とゴルフをこよなく愛する人」を対象に平成28年より実施されています。参加者は、「毎年この大会を楽しみにしている。今年も参加できて嬉しい」と話しました。

また、同大会ではチャリティとして協力を参加者らに募り、佐賀中学校と大方中学校に図書が寄贈されました。

同日には、八木敦士プロ(黒潮カントリー所屬)による「第3回スナッグゴルフ教室」が行われ、三浦小学校と上川口小学校・宿毛小学校の児童ら18名が参加しました。三浦小5年の濱口碧^{あおい}己さんは、



八木プロから指導を受ける児童

「最初は緊張したけど、プロが優しく教えてくれたので楽しかった」と話しました。

第4回奥湊川彼岸花まつり

9月23日(月)・24日(火)の2日間、湊川ふれあいセンターで「第4回奥湊川彼岸花まつり」が開催され、多くの人で賑わいました。

奥湊川地区では、「地区を盛り上げたい」という思いから奥湊川活性化維持委員会が平成23年に結成され、それまで点々と咲いていた彼岸花を道端に咲かせて見所しようとして住民らが植え替えなどを行いました。また、同祭は地区のものを販売し、交流の場にしようとして4年前から開催されています。

訪れた人は、同地区で作られた米や野菜、惣菜などを購入したり、彼岸花が咲く道沿いを歩いたりと思いいに楽しんでいました。

田辺孝区長は、「天気の関係で中止も考えたが、たくさんの人が来てくれて笑



道沿いに咲く彼岸花を楽しむ住民

顔が見られて良かった。年々出品してくれる住民も増えており、交流の場としてこれからも続けていきたい」と話しました。

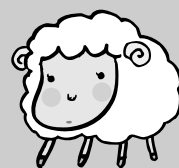


ニュージーランドへ行ってきました



～中学生海外派遣事業～

佐賀中・大方中学校の3年生を対象とした中学生海外派遣事業が、8月13日(火)から23日(金)に行われ、選考を通過した12名の生徒(佐賀中5名、大方中7名)と引率者4名がニュージーランドへ行ってきました。



平成8年から24年間に渡り継続しているフェアフィールド中学校への中学生海外派遣事業。生徒たちは、さまざまな体験をしました。

フェアフィールド中学校では、授業中に隣の席に座り一緒に作業をしてくれたり、休み時間や昼食も一緒に過ごし有意義な体験ができるよう支援してくれる「バディ」が生徒たちと行動してくれました。マオリ文化の学習では、班に分かれて「ハカ」の練習をしました。ハカは、ラグビーのニュージーランド代表オールブラックスが、試合前に踊ることによって有名で、生徒たちはバディが丁寧に教えてくれるセリフや動作を覚え、マオリの民族衣装を身に着け真剣に踊りました。また、授業は日本との違いを多く感じました。ニュージーランドは1時限が90分から115分間、1日3時限で、さまざまな国の生徒が複式学級のように1つのクラスで学習し、隣同士で自由に話し合い意見をまとめていました。生徒たちは教師の周りの床に座って話を聞いたり、カウンターでメモを取ったり、思い思いのスタイルで授業を受けていました。それを見た黒潮町の生徒たちは、「私たちの学校では、みんなが机に座って一人ひとりが黙々と授業を受けているけど、ここはみんなが好きな場所に座って先生の話の聞いたり、質問があればすぐに尋ねたり、隣の人と相談をしたりして自由。私はこっちの方が好き」と話していました。

また、生徒たちは休日にはホームステイ先のホストファミリーと名跡を見たり、ショッピングやゲームをしたりしてそれぞれが有意義に過ごしたそうです。

生徒たち一人ひとりが、黒潮町の代表として自覚を持ち、しっかりとした行動ができたことが大きな成果であると思います。最初は消極的な生徒たちでしたが、バディの支援やホストファミリーが優しく接してくれたことで、のびのびと学校やホームステイ先での生活を送ることができました。

また、ニュージーランドの授業を体験したことから、自分自身の学習する姿勢を見つめ直し、主体的な学習姿勢へと切り替えるきっかけを得ることができたと思います。意見を積極的に出し合い話し合うことやマオリの文化に触れることにより、多種多様な考え方を認め合い、ともに生活していくことの素晴らしさを実感できました。言葉では十分伝えることができなかったかも知れませんが、思いを伝えることの嬉しさや楽しさを味わった生徒たちは、新しい自分を発見し、今までと違った見方ができる人になっていくと思います。そして、この体験を仲間に伝え、学習活動づくりや人間関係づくりに活かし、広く世界に目を向けながら、グローバルな社会で活躍できる人になってもらいたいと願います。

町教育委員会 教育次長 藤本 浩之



マオリ文化の体験学習



「ハカ」の後、集合写真



歌と踊りでお迎え

佐賀中学校 3年 ^{どい} 土居 さやか

今回研修に行き、ニュージーランドの文化や人々の私生活の様子を間近で見つめ、日本との相違点をたくさん見つけることができました。8日間ニュージーランドにいたのでたくさんの人と出会いました。そこで気づいたことが話すときにみんな目を見て話すということです。私はずっと目を見て話すことに慣れてなく、恥ずかしくなって目をそらしてしまっていました。けれどニュージーランドの人たちはずっと目を見て話してくれて、そこに話をしている相手に向けての思いやりの気持ちが隠れているようでした。

この研修で英語を積極的に話す楽しさ、大切さが身に染みて感じられました。ニュージーランドで培った積極性や思いやりを忘れずに、それを中学校や自らの生活に取り入れながら日々精進していきたいと思いました。

この研修を企画、運営し、私たちをサポートしてくれた皆様、貴重な体験ができました。本当にありがとうございました。

佐賀中学校 3年 ^{はまだ まさひろ} 濱田 真宏

11日間海外派遣事業がありました。

僕は11日間で特に思ったことが2つあります。

1つ目は、とてもフレンドリーということです。学校訪問中には、よく話しかけてもらったり、ハイタッチなどをしました。ホームステイ中には、よく話したし、一緒にテレビや映画などを見ました。そして、ホストファミリーの友達も自己紹介をしてもらいました。

2つ目は、優しいということです。僕たちの家族のためにお土産を買ってくれたり、僕たちにネックレスと手紙をくれました。

この海外派遣事業で、自分自身の英語の能力が上達したと思います。この経験を周りの人に伝えていきたいです。そして、将来使うかわからないけど使えて損はないと思います。これからのつながっていきたいです。

大方中学校 3年 ^{たなか こなつ} 田中 小夏

8月13日から23日までニュージーランド派遣事業に行ってきました。行く前は生活の違いやコミュニケーションをとることに不安を感じていました。でも、行ってからは不安を感じることもなく、11日間があつという間に過ぎてしまいました。

ニュージーランドでは、マオリ村を訪れたり、学校訪問やホームステイなど貴重な体験をたくさんしました。その中で日本との文化や生活習慣の違い、自分から積極的にコミュニケーションをとることの大切さを学びました。ホームステイ中に発音にとまどいながらも簡単な単語やジェスチャーで会話し、うちとけていく中で言語は違っても心は通じあうことを強く感じました。

この研修で英語力を上達させ自分自身大きな成長を遂げることができました。

このような素晴らしい体験をさせてくださった黒潮町に心から感謝します。本当にありがとうございました。

佐賀中学校 3年 ^{はまだ こまち} 浜田 小町

今回のニュージーランド派遣事業での学校訪問で私がおどろいたことは2つあります。

1つ目は、目が合うとニコッと笑顔を返してくれたり「Hi」などの声をかけてくれることです。私は英語が苦手でもとても不安だったけれど、声をかけてくれたり、肩を組んだりしてくれて、不安もなくなり楽しく過ごすことができました。

2つ目は、授業をしているとき、日本では先生の方を向いて勉強をしているけれど、ニュージーランドでは、椅子を机がわりにして勉強をしている子、床に寝ころがって勉強をしている子など、1人ひとりの集中できる体勢で授業を受けている所がおどろきました。

この体験をして、自分の英語の力が少し上がった気がします。英語がたくさん飛び交う環境で、自然に単語が出てきたので少しずつ身につけているなと思いました。将来英語を使うかはまだわからないけれど、これからも英語の学習をがんばっていこうと思います。

佐賀中学校 3年 ^{まつだ まひろ} 松田 満陽琉

私はニュージーランドへ行って心に残ったことが2つあります。

まず1つ目は、ニュージーランドの文化を実際に体験できたことです。ハカや歌、ハンギ料理などを食べたりできたことが本当に良かったです。ニュージーランドの文化について少しは知っていたけど、ニュージーランドへ行って知らなかったことがたくさん知れて、文化について詳しくなれた気がします。

2つ目は、皆がとてもフレンドリーなことです。ホームステイ先でも学校訪問でも初めから皆がよく話してきてくれました。そのおかげで、あまり緊張することもなかったし、自分から話しかけたりすることができました。

私はこの研修を通して、たくさんのことを学んで体験することができました。ニュージーランドで学んだことを佐賀の人たちにも伝えていきたいです。

佐賀中学校 3年 ^{もりた りょうたろう} 森田 涼太郎

今回のニュージーランド研修で僕は、日本とニュージーランドの文化の違いを見つけることができました。その中でも印象に残っていたことが2つあります。

1つ目は、日本では机の上で勉強することがあたりまえですが、僕たちの行ったニュージーランドの学校の生徒たちは床に寝そべって勉強をしていたのでおどろきました。

2つ目はスナックタイムというお菓子を食べる時間があるということです。スナックタイムではカップケーキなども食べていいと知った時はとても衝撃を受けました。でも実際に体験をしてみて、お腹が減って集中できない時に軽く食べられるのでとてもいいと思いました。

僕はこの研修を通して、日本以外のほかの国の文化にふれて、たくさんのことも体験できたので良かったです。このことを後輩などに伝えて、もっと違う国の文化を知ってもらいたいと思いました。

大方中学校 3年 徳広 愛実

8月13日から23日までニュージーランドに行ってきました。

初めは、とても不安でしたが楽しく過ごすことができました。私が一番心に残ったのはホームステイです。会う前はどんな人だろう、大丈夫だろうかと心配でした。しかし、とても優しい人ばかりで本当にこの家族で良かったなと思いました。いろんなところに連れて行ってくれたり、私のわがママをきいてくれたり、一緒にDVDをみたり、話したり、遊んだり、たくさんの体験をさせてくれました。感謝でいっぱい、何にもお返しをすることができなくて申し訳ない気持ちになりました。次は日本に呼んで、日本のことを紹介したいなと思いました。

この研修で、日本と海外のさまざまな違いを知ることができ、ニュージーランドの良さをたくさん学びました。ニュージーランドで学んだことを今後活かせるようにしていきたいです。

大方中学校 3年 西嶋 瞳

8月13日から23日までニュージーランドに行ってきました。海外は初めてで、不安は大きかったですが良い思い出になりました。

ニュージーランドには、現地の人たちだけでなくいろいろな国の人たちがたくさんいました。でも、みんな仲が良く、互いの文化や生活を大切にしていたとても良いなあと感じました。

この研修で、自分の英語力を上げることができ、と思います。普段学校の授業で習うフレーズを、実際に使っていることを聞いたり、話したりすることでしっかり定着させることができました。

今回、実際にニュージーランドに行つて、文化や生活を身をもって体験することができ、海外のことにさらに興味がわきました。この貴重な体験を将来に活かしていきたいです。

大方中学校 3年 藤原 美月

今回、11日間に渡つてニュージーランド派遣事業をし、たくさんのことを学び、感じたことがあります。

私は、初めて海外へ行ったので、楽しみよりも不安の方が大きかったです。特に、ホームステイはどんな人なのかな、英語をちゃんと理解できるだろうか、話せるのだろうか、不安しかありませんでした。でも、ホストファミリーが優しく迎えてくれ、少し安心しました。初めはニュージーランドと日本の違いにとまどったけど、少しずつ慣れていくことができました。ホストファミリーは私に対して本当の家族のように接してくれました。たと言葉や文化が違っていても、心はつながるんだなと感じました。

この派遣事業で、私は大きく成長することができ、と思います。このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

大方中学校 3年 中村 光望

私は夏に初めてニュージーランドに行きました。初めてということもあり、わくわくしたし、毎日たくさん発見がありました。

ホームステイでは、温かく迎えてくれました。また、私が理解できるようにゆっくり話してくれたり、毎日UNOやゲームをしたりと優しく接してくれました。休日には、ホッケーを見に行ったり、トランポリンに行き、楽しい日々を過ごすことができました。また、意思表示をしっかりとすることができ、自分から話しかけることもできました。友達もでき、ニュージーランドについて教えてもらったり、日本について教えたり、たくさん会話することができるようになり、今までより英語力が上がったように感じました。

この研修は、私にとって最高の思い出になったし、今まで以上に英語をがんばろうと思えるようになりました。学んだことを活かせるようにします。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

大方中学校 3年 藤原 奈央

私は、この11日間の研修でたくさんのことを経験し、学んできました。

私にとって、10日間も家を離れ全く知らない場所で過ごすのは初めてだったので不安もたくさんありました。しかし、ホームステイ先の人と会った時笑顔で優しく話しかけてくれたので、不安を少し和らげることができました。学校を訪問した時も、笑顔で手を振ってくれたり声をかけてくれる人もいました。フェアフィールド中学校の生徒たちともすぐに仲良くなることができ、とても思い出に残った7日間でした。また、観光ではマオリ族の歴史や戦争の歴史について学びました。

この研修で、日本とニュージーランドの習慣や風習の違い、ニュージーランドの歴史、自分から積極的に話しかけることの大切さを学ぶことができました。この経験を将来に活かしていきたいです。

大方中学校 3年 松本 真弥

8月13日から8月23日までニュージーランドに行ってきました。私は、11日間で思ったことや感じたことが2つあります。

1つ目は、自然がたくさんあったことです。休みの日にホストファミリーと海に行きました。行っている間はほとんど緑でとてもきれいでした。また牛や羊もいて黒潮町では見ることができない光景もたくさんありました。

2つ目は、ニュージーランドの人はすごく優しいことです。友達と観光をしている時に迷子になってどうしたらいいのかわからなかった時、男の人が道を教えてくれたし、学校では、案内をていねいにしてくれました。

この研修で、文化の違いを知ることができました。また、たくさんの体験もでき、とても貴重な時間となりました。とても良い思い出ができて本当に良かったです。

楽しかった修学旅行

9月29日から3日間、佐賀地区連合小学校で広島に修学旅行に行きました。

3日間で二番楽しみにしていたのは、「みろくの里」でいろいろな乗り物に乗って、みんなで遊ぶことでした。その中でも乗ったかったのは、「スーパースター」でした。乗る前には、とてもわくわくしていました。少しずつ動き始めると、ドキドキしてきました。「これから、どうなるがやろうねえ」とバーをにぎって大きな声で話していました。友達も私もニコニコしていました。私たちは、一番後ろが楽しいのでその場所を選んで乗っていました。一番高いところまで上がったとき、思ったよりもすごく高く感じました。下りる瞬間は、体が浮いたような感じになり、思わず、ワーンと声が出ていました。顔に当たる風がとても強かったです。

だんだんとスピードが遅くなってくると、はやから終わったのやと思ってしまう。終わった瞬間、楽しすぎてもう一回乗りたいと思いました。「スーパースター」には、合計3回乗りました。ほかにも、スリル満点の乗り物には、たくさん乗れたし、友達と最高の時間を過ごすことができました。



(伊与喜小学校 6年 間崎 亜美)

修学旅行

9月20日から3日間、僕たちは広島方面に修学旅行に行ってきました。

マツダミュージアムでは、車の仕組みや中心部となるエンジンの作り方を見せてもらいながら、説明を受けました。今の時代は、速く走る車というより燃費が良くて地球に優しい車が重視されていることがわかりました。

NHKのテレビ局では、アナウンサー体験をしました。とても緊張して笑ってしまったり、つまってしまったりといろいろなハプニングが起きてしまつて、とても放送できる状態ではありませんでした。そう考えると、アナウンサーの人はすごいなと思いました。

平和学習では、原爆ドームを見た後、さだ子さんの像の前で鶴をささげたり、歌ったりして、平和を願いました。その後の原爆資料館では、とても怖い写真があつて、戦争や原爆の恐ろしさがわかりました。展示されていた服はぼろぼろに破れていたもので、被爆した人たちの苦しみを感じました。2度と戦争はしてはいけなさと改めて思いました。語り部さんの話もとても頭に入ってきて、たくさんメモを取りました。

これから、2度と戦争を起こさないために、ぼくたちにできることをやっていきたいと思います。



(入野小学校 6年 入野 友綺)

協力してできた調理実習

ぼくたち5年生は、家庭科で調理実習をしました。ご飯とみそ汁、スクランブルエッグ、サラダをつくりました。ヘルスメイトという方にも協力してもらいました。

ぼくは、家でもお母さんが料理しているのを、時々、手伝っています。家でやっていると、野菜を切ったり、卵を割ったりしました。そして、スクランブルエッグもいきました。じょうずにいしそうにできたと思います。友だちと仕事を分たして、みんなで協力してできたのがよかったと思います。食べてみると、とてもおいしかったです。

1人で行うのはむずかしそうだけど、お母さんといっしょに作ってみたいです。



(佐賀小学校 5年 萩野 優太)

佐賀小学校

夢や志をもち、やさしく、
たくましく生きる児童の育成

校長 平林 也奈

◆はじめに

今年度は、児童数81名、学級数8（通常学級6、特別支援学級2）、教職員数14名でスタートしました。

学校の教育目標は、「夢や志をもち、やさしく、たくましく生きる児童の育成」です。そこに迫るために、「自立（たくましく生きる）」「共生（ともに生きる）」「貢献（人の役に立つ）」をキーワードに教育活動を展開しています。

また、年度初めには児童や保護者の皆さんに佐賀小学校をこんな学校にしたいと、始業式やPTA総会、学校通信などで投げかけ新年度をスタートしました。

「つながり」

みんなが みんなに

やさしい佐賀小

つながりをテーマにした取組の一端を紹介します。

◆保育所とのつながり

佐賀中学校区は長年、保小中連携会議を中心に目標を

設定し、取組を進めていきます。また、今年から2年間、県教育委員会の指定を受け、「保小連携・接続推進事業」の研究を進めることになりました。

活動の1つとして、6月10日（月）には、「カレーパーティー」で交流しようを行いました。保育園児との交流の中で、お姉ちゃん、お兄ちゃんらしい姿がたくさん見られ、1年生の成長を感じることができました。また、6月26日（水）には保

幼の先生や県教育委員会など30人を超える参加者が見守る中、研究授業を行いました。普段通りとはいかず緊張した姿も見られました。が、「聞いたり伝えたりのコツ」について、個人やグループ、そして、全体で共有しながら、相手を思いやる言葉かけや励まし、プラスの評価が

たくさん見られ、みんなが嬉しい気持ちになる1日でした。



◆中学校とのつながり

佐賀中学校の生徒たちも小学生をサポートしてくれています。

中学生が1学期に2度、小学生が興味を持って聞くことができる本を選び、朝の読み聞かせに来てくれました。また、夏休みに入ると、加力学習にも来てくれて、丸付けの手伝いだけでなく、わからないところを丁寧に教えてくれました。小学生は中学生の姿に憧れを持ったことでしょう。



◆保護者とのつながり

本校の強みは、保護者が児童や学校をサポートしてくれることです。学校行事の田植えや稲刈りはもちろん、プール監視などさまざま

な場面で力を貸してくれ

ます。佐賀小の一大イベント「夏祭り」では、地域の方も踊りの指導に毎年来てくれています。当日は、体育館が熱気にあふれ、児童たちは大喜び。みんなが楽しいひと時を過ごすことができました。たくさんの方たちのおかげで「佐賀小夏祭り」が続いている

ことを実感し、保護者のパワーや佐賀のあたたかさを感じました。

◆佐賀地区3校とのつながり
佐賀地区の拳ノ川小学校、伊与喜小学校とはいろいろな形で交流をしています。特に高学年では宿泊をと



なつての交流があり、6月の宿泊学習、9月の修学旅行と、大きな行事を3校の児童たちで作り上げていきます。宿泊学習では、「①きまりを守って楽しく活動、②友だちとの交流、③自主

的に活動」をめあてに実施し、児童たちのたくさんの笑顔が見られる一泊二日となりました。9月には修学旅行があり、これらの学習を通して、3校の子どもたちのさらなる成長を期待しています。

◆佐賀小児童のつながり

7月に、縦割り班活動「スペシャルタイム」を行いました。「自主的な活動を通して自治力を高める。そして、団結力を高める」ことを目的に、6年生を中心に活動内容を決め、それに向けての計画・準備を進め、実施しました。活動内容を班の話し合いで決めたり、段取りしたりと大変だったとは思いますが、やり切ってくれました。高学年の大きな成長・成果が見られた取組となりました。「2学期のチャレンジタイムが楽しみ」という声も多く聞こえてきました。

たくさんさんの「つながり」を通して、みんなの命や人権が守られ、「みんなが みんなにやさしい佐賀小・家庭・地域」をみんなで創りあげていきたいと考えています。

大方中学校

さまざまな活動を通して
成長する生徒たち

校長 浜口 和彦

◆はじめに

大方中学校は今年度150名の生徒が在籍しています。

教育目標を「学びあい、つながり、未来を拓く」とし、すべての生徒に未来に生きるために必要な力を身につけさせたいと考えています。

今年度の生徒会のスローガンは、「Change! We are challengers!」です。自分たちが成長するために、そして学校を良くするためにいろいろなことに挑戦し、変わっていかうという思いが込められたものです。そんな生徒たちの活動を紹介します。

◆笑顔いっぱい体育祭

9月15日(日)、体育祭が行われました。当日は、朝からたくさんさんの保護者や家族、地域の方に応援に来ていただきました。本校の体育祭は、体育祭実行委員会や、応援団、ダンス委員、組体委員、団旗の係など、生徒の力で創りあげるとい



う伝統があります。今年も3年生を中心に、夏休みから話し合いや準備を進め、今年の大中学生の良さを活かした体育祭を行うことができました。応援合戦では、

新しいパフォーマンスを取り入れようとする工夫が見られ、色全体でまとまりのある応援合戦でした。男子の組体操や女子のダンスも一体感があり、すごい表情で楽しそうに演技していました。団体競技もスピード感があり、学級・学年としてのまとまりを感じることができました。

参観の方からも、「笑顔がいいですね」、「さわやかな体育祭ですね」、「いい体育祭、おもしろかったです」と言っていたきました。

◆10年目を迎えた元気会

本校には「元気会」というボランティアを中心に活動する団体があります。

「自分たちの学校や地域のために、何かできることはないだろうか」という思いで活動し、今年で10年目になります。

今年度もメンバーを募集し、56名が活動しています。これまで、はだしマラソンやいごっそうアコースロン、まるごと産業祭などの町内の行事での活動だけでなく、校内の美化活動なども行っています。これらの活動を通して、人のために活動することの大切さや笑顔の大切さ、感謝されることの喜びなどを学ぶことができます。



います。また、今年は、町が産地化を進めているグリーンレモンのPR活動にも参加しました。

◆防災委員会を中心に

将来の町の担い手として、防災についての知識や技能を身につけることも大方中の重要な役割です。今年はいこれまでの取組のうえに、生徒たちのアイデアを取り

入れ生徒主体の活動を取り入れたいと考え、生徒の防災委員会を立ち上げました。避難訓練で活動したり、地域の防災活動に参加しながら、その様子を防災通信にまとめたりしています。(防災通信は本校のホームページからご覧いただけます。)

8月1日(木)・2日(金)に、防災委員会のメンバーを中心に8名の生徒が大方高生と一緒に京都大学を訪問し、地震研究の第一人者である矢守克也教授の研究室や京都大学防災研究所、阿武山地震観測所を見学し最先端の取組を学ぶことができました。防災について学べたというだけでなく、中学生の時期に京都大学を訪問できたということは、生徒たちにとっても貴重な経験になったと思います。



また、10月中旬には、2・3年生が防災学習で学んだことを町に提言する場を持ち、未来の黒潮町について考えていきます。

◆AMDAとの交流

8月31日(土)から2日間、岡山県からボランティア活動に取り組んでいるAMDAの中高校生が町を訪れました。1日目は、本校の防災委員会や佐賀中・大方高校の生徒と防災の取組について交流しました。

2日目には、町の総合防災訓練に参加し、本校の1年生や地域の皆さんと一緒に心肺蘇生法の講習を受け、新聞紙を利用したスリッパやキッチンペーパーを利用したマスク作りをしました。

また、この日は1年生が地域の方と炊き出し訓練を行い、AMDAの生徒と一緒にカレーを食べ、活動についての聞き取りも行いました。AMDAの生徒は地域の方とも積極的に交流をしていて、意識も高く本校の生徒にとっても良い交流になりました。



黒潮シーサイドコンサート

12月7日(土)、ふるさと総合センターで、陸上自衛隊第14音楽隊による「黒潮シーサイドコンサート」を実施します。

第14音楽隊は、香川県善通寺市に所在し、自衛隊の儀式、隊員の士気高揚のための演奏および四国4県を中心としたコンサート、各種イベント、学生に対する演奏技術指導など、部内・外において年間100回を超える演奏活動を行うなど幅広く活動をされています。開催時間や演奏種目などについては、12月にチラシを配布し黒潮町ホームページに掲載します。ご家族、ご友人などお問い合わせのうえご来場ください。



街路灯が寄贈されました

四国電力株式会社より街路灯が寄贈され、本庁で街路灯寄贈式が行われました。

寄贈灯数は3灯です。いずれの場所も夜間は暗く通学時などにおいて危険な場所でしたが、今回の寄贈によって地域の安全の向上が図られました。

○街路灯整備地区

王迎 田野浦 出口地区



■緊急地震速報をご存じですか

想定されている南海トラフ巨大地震が発生した場合、最初に襲うのは経験したことのない強い揺れです。

この強い揺れから身を守るためには、住宅や建造物の耐震化や家具などの転倒防止、非常持出し袋の準備などの事前の備えと、実際に地震が発生した際の強い揺れの到達を知らせる「緊急地震速報を活用した適切な行動」が極めて重要であると言われています。

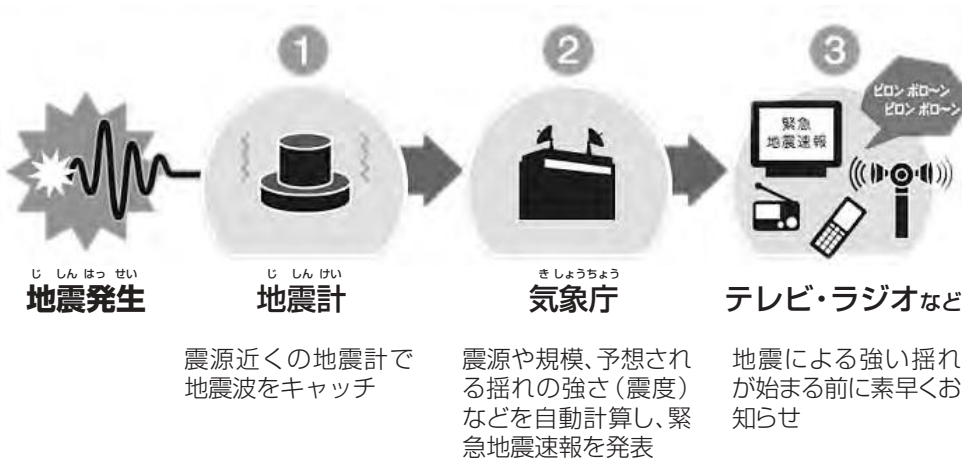
しかし、緊急地震速報の内容の理解やテレビ・ラジオ・携帯電話の音の認知度は低く、実際に見聞きした場合の身を守る行動がとられていないのが実状です。

■緊急地震速報とは

南海トラフ地震などの強い地震が発生した場合、地震発生場所や揺れの到達地点にもよりますが、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り早く知らせる情報のことです。

緊急地震速報が発表され、強い揺れが到達するまでに十数秒から

数十秒の猶予があると言われています。この間に、身を守る行動をとることにより、自分の命だけでなく、家族の命を守ることが出来るものです。



○お問い合わせ

【本庁】情報防災課 南海地震対策係

☎43-2188

【佐賀支所】地域住民課総合窓口第1係

☎55-3113

健康カレンダー

11月中旬から12月中旬までの健康に関する行事予定です。
変更となる場合がありますので、担当係にご確認ください。



大方地域

11月	内 容	場 所	時 間
18日(月)	鞭 健 康 相 談	鞭老人憩の家	10:00~11:00
	浜 の 宮 健 康 相 談	浜の宮集会所	
19日(火)	大 方 橘 川 健 康 相 談	大方橘川集会所	9:30~10:30
20日(水)	御 坊 畑 健 康 相 談	御坊畑集会所	
21日(木)	下 田 の 口 健 康 相 談	下田の口コミュニティセンター	
22日(金)	肺がん検診(未受診対象)	下馬荷集落センターほか10力所 (詳しくはお問い合わせください)	受診券に記載
	大腸がん検診(容器配布)		
28日(木)	大腸がん検診(容器回収)	11月22日の配布時にお知らせ	8:30まで
12月	内 容	場 所	時 間
2日(月)	小 川 健 康 相 談	小川集落センター	10:00~11:00
5日(木)	灘 健 康 相 談	灘集会所	
6日(金)	芝 健 康 相 談	芝集会所	
11日(水)	浮 津 健 康 相 談	浮津集落センター	9:30~10:30
13日(金)	早 咲 健 康 相 談	早咲集会所	10:00~11:00

佐賀地域

注)表中の※印は、受付時間となります。

11月	内 容	場 所	時 間
19日(火)	馬 地 サ ロ ン	馬地集会所	9:30~11:00
25日(月)	愛 育 相 談	佐賀保育所	10:00~11:00
12月	内 容	場 所	時 間
4日(水)	乳児・1歳6カ月児健診	総合センター	※13:00~13:20

○お問い合わせ 本庁 健康福祉課 保健衛生係 ☎43-2836 佐賀支所 地域住民課 保健センター ☎55-7373

■当直医療機関

月日(曜)	四万十市	宿毛市 (0880)	四万十町 (0880)
11/17(日)	四万十市立市民病院 ☎34-2126	幡多けんみん病院 ☎66-2222	大西病院 ☎22-1191
23(土)	中村病院 ☎34-3177	聖ヶ丘病院 ☎63-2146	くぼかわ病院 ☎22-1111
24(日)	大野内科 ☎37-5281	田村内科クリニック ☎63-1668	
12/1(日)	四万十市立市民病院 ☎34-2126	筒井病院 ☎66-0013	
8(日)	中村クリニック ☎34-5100	奥谷整形外科 ☎63-1202	大西病院 ☎22-1191
15(日)	四万十市立市民病院 ☎34-2126	大井田病院 ☎63-2101	

※当直医は、変更になる場合がありますので、あらかじめ確認してから受診してください。

・高知県救急医療情報センター ☎088-825-1299

電話で救急対応の医療機関をご案内しています。年中無休・24時間対応です。

・こうちこども救急ダイヤル #8000 または ☎088-873-3090

夜間にお子さんの具合が悪くなり、心配なときにご利用ください。午後8時から午前1時までベテラン看護師が相談をお受けします。

■拳ノ川診療所 11月の診療予定【診療時間】午前9時30分～正午、午後2時～午後5時（記載がある場合はその時間まで）

	日	月	火	水	木	金	土
午前						1	2
午後						外来診療（矢野先生）	
午前	3	4	5	6	7	8	9
午後	文化の日	振替休日	外来診療（澤田先生）				
				外来診療（池田先生）	外来診療	外来診療（矢野先生）	
午前	10	11	12	13	14	15	16
午後		外来診療（幡多医師会） 12:30～14:00（受付13:50まで）	外来診療（澤田先生） 〔伊与喜出張診療所〕 9:45～10:30 〔鈴出張診療所〕 11:10～12:30 外来診療（澤田先生）	外来診療（石井先生）	外来診療（池田先生）	外来診療（矢野先生）	
午前	17	18	19	20	21	22	23
午後		外来診療（幡多医師会） 12:30～14:00（受付13:50まで）		外来診療（池田先生）	外来診療	外来診療（矢野先生）	
午前	24	25	26	27	28	29	30
午後		外来診療（幡多医師会） 12:30～14:00（受付13:50まで）	外来診療（澤田先生）	外来診療（石井先生）	外来診療（池田先生）	外来診療（矢野先生）	
						外来診療（矢野先生）	

- ・当診療所は予約制です。あらかじめ電話連絡をお願いします。当日の予約受付もできます。
- ・医師の都合により、診療日および診療時間が変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- ・月曜日のみ診療時間が午後0時30分から午後2時（受付は午後1時50分まで）となっています。
- ・火曜日から金曜日（医師名記載の日）は、高知医療センター内科医師が診療しています。
- ・特定健診（個別）を随時受け付けています。ぜひご利用ください。

【お問い合わせ】拳ノ川診療所

☎55-7111

○お問い合わせ
地域子育て支援センター
（大方中央保育所内）
☎43-0512

これからママ・パパになる人も
気軽に遊びに来てください。
帰省中の方も利用できます。

※悪天候の日はお電話でご確認ください。
（高知こどもの図書館）

午前10時～午前11時30分
場所 地域子育て支援センター
内容 「親子でふれあう絵本の世界」
講師 刈谷明子さん

★第8回「子育て講座」
14日（木）
午前10時～午前11時30分
場所 地域子育て支援センター

★7日（木）避難道を歩いてみよう
21日（木）誕生日会
28日（木）0才からのリトミック
午前10時～午前11時30分
場所 地域子育て支援センター

★佐賀おでかけ広場
午前9時30分～午前11時30分
場所 保健センター（拳ノ川）
☎55-7373

11月の予定


地域子育て支援センター通信

第57回

第7回

大方の秋まつりと黒潮町まるごと産業祭

【日時】11月10日（日） 午前10時～午後3時

【場所】土佐西南大規模公園体育館周辺

※「大方の秋まつり」の作品展示は、11月9日（土）午前9時から午後6時と10日（日）午前9時から午後3時に体育館で行います。

お願いとお詫び 当日はステージでの楽器演奏による騒音や、交通渋滞などが予想されます。可能な限りの対策をいたしますが、野外イベントでもあり、完全な対策は困難と思われます。住民の皆様におかれましてはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○お問い合わせ 本庁 教育委員会 生涯学習係 ☎43-0044・佐賀支所 海洋森林課 商工係 ☎55-3115

フレイルと健康寿命

◆平均寿命よりも大切な「健康寿命」

健康寿命とは、健康で自立した生活を送ることができる期間のこととて、寝たきりや認知症などにより介護を要する期間を平均寿命から差し引くと健康寿命の期間になります。

現在、日本人の平均寿命と健康寿命には約10年の差があります。健康寿命は生活習慣の改善で延ばすことができます。

◆「フレイル」とは

フレイルとは、年齢とともに生じる心身の衰えのことを言います。加齢による衰えは自然なことですが、フレイルの状態が長く続くと、要介護や寝たきりのリスクが高まります。早いうちに適切な対策を行い、フレイルを予防することで健康寿命を延ばすことにつながり、健康な状態に戻ることも十分に可能です。

◆フレイルチェック

フレイルには下記のように4つの側面があります。これらは生活習慣や身体・心の状態によって複雑に絡み合いながら進行します。気づいた項目から改善しましょう。

心理的・認知的フレイル

- ・ 以前と比べて物忘れが多くなった
- ・ 今が何月何日何曜日かわからなくなることがある
- ・ 5分前に聞いた話の内容を忘れてしまうことがある
- ・ 不安や考え事を自分の中に溜め込みがちだ
- ・ 自分なりのストレス解消法がない

オーラルフレイル

- ・ 「たくあん」や「するめいか」くらいの硬さの食べ物が噛み切りにくくなった
- ・ 水や汁物でむせることが増えた
- ・ 人から聞き返されることが増えた
- ・ 自分の口臭が気になる
- ・ 口の中が以前より乾燥している気がする

身体的フレイル

- ・ 同姓の同年代より歩くのが遅い
- ・ 以前より体力が落ちたと感じる
- ・ ひざや腰など身体に痛みを感じることもある
- ・ ペットボトルが開けにくくなった

社会的フレイル

- ・ 家に閉じこもりがちだ
- ・ 人と食事する機会がない
- ・ 以前はできていたことが面倒だと感じる
- ・ 地域行事やサークルに参加していない
- ・ 退職後、人と話す機会がかなり減った

◆フレイル対策について

身体的フレイル

・ サルコペニア(※)を防ごう
両手の人差し指と親指で輪をつくり、利き足と反対のふくらはぎの、一番太い部分を力を入れずに囲みましょう。隙間ができる人は「サルコペニア」の危険があります。筋力低下や骨折の恐れが高まるほか、外出頻度が減り落ち込んだり、認知症などのリスクもあります。

・ 痩せすぎに注意しましょう
特に筋肉の元になる「たんぱく質」を含む肉、魚、卵、乳製品、豆類などを意識して摂るようにしましょう。

肉や卵、糖質が含まれる主食類を避けた食生活が続けていると、きちんと食べているつもりでも筋力低下や低栄養の原因になります。ウォーキングをしましょう。

- ① 背筋を伸ばす
 - ② 目線は真っ直ぐ前を見る
 - ③ かかとから足をつき、つま先で地面を蹴る
 - ④ 歩幅を少し広げる
- この4つを意識して、まずは10分歩いてみましょう。

オーラルフレイル

・ 会話やカラオケで口の筋肉を鍛えましょう。
・ 顔の周りや耳の下、顎の下側をマッサージして、だ液が出るように促しましょう。
・ 歯ブラシやデンタルフロスなど、自分に合った道具で口内を清潔にしましょう。

心理的・認知的フレイル

・ 日常生活の中から頭と身体を使うことを意識しましょう。
・ つらい時は、無理せず誰かに相談しましょう。

社会的フレイル

・ 家族や友人とコミュニケーションをとる機会を増やしましょう。
・ (※)加齢にもなつて生じる骨格筋量と骨格筋力の低下

○お問い合わせ

本庁 健康福祉課 保健衛生係

☎ 43-2836

佐賀支所 地域住民課 保健センター

☎ 55-7373



介護保険ガイド

● 介護保険広報シリーズ 163 ●
区分支給限度基準額について

◆ 消費税率引き上げにともなう区分支給限度基準額の変更について

消費税10%への引き上げにともない、介護報酬が改定され、10月1日から区分支給限度基準額（要介護度に応じた1カ月あたりの支給限度額）が変更になりました。

要介護度	改定前(9月末まで)	改定後(10月から)
事業対象者	50,030円	50,320円
要支援1	50,030円	50,320円
要支援2	104,730円	105,310円
要介護1	166,920円	167,650円
要介護2	196,160円	197,050円
要介護3	269,310円	270,480円
要介護4	308,060円	309,380円
要介護5	360,650円	362,170円

※住宅改修費・福祉用具購入費の限度額は変更ありません。

※事業対象者について、地域包括支援センターのケアマネジメントにより必要と認められた場合は、上限を105,310円とすることができます。

要介護（要支援）認定をお持ちの方や事業対象者の介護保険被保険者証には、区分支給限度基準額が記載されていますが、今回の改定による被保険者証の差し替えは行いません。9月30日以前に交付している介護保険被保険者証については、改定後の区分支給限度基準額に読み替えての対応となります。なお、10月以降に交付する介護保険被保険者証につきましては、改定後の区分支給限度基準額を記載しています。

◆ 区分支給限度基準額について

在宅サービスについて、利用者の状況に応じた適正なサービスを提供する観点から、要介護度ごとに区分支給限度基準額が設定されています。

区分支給限度基準額を超えるサービスを受けた場合は、全額自己負担になります。

（例）要介護1（1割負担）の方が17万円分のサービスを受けた場合の自己負担額

$$\begin{array}{rcl} \text{区分支給限度額の1割} & + & \text{支給限度額を超えた額} \\ 16,765\text{円} & & 2,350\text{円} \\ \hline & = & \text{自己負担額} \\ & & 19,115\text{円} \end{array}$$

介護保険給付の対象（1・2・3割自己負担）		対象外 （全額自己負担）
	1割	
区分支給限度額		
要介護1の場合 167,650円	16,765円	2,350円

介護保険料は大切な財源です。安心して便利な口座振替を利用して納付期限までにお納めください。

【お問い合わせ】 本庁 健康福祉課 介護保険係 ☎43-2116

みんなでささえる 国保会計



～ 国民健康保険と後期高齢者医療保険の違いについて ～

「後期高齢者医療保険」は、平成20年4月から開始された制度です。「国民健康保険」と同じ医療保険ですが、仕組みが異なります。制度の主な違いについて以下の表で説明します。

【制度の主な違い】

	国民健康保険	後期高齢者医療保険
被保険者	・ 75歳未満でほかの健康保険に加入されていない方	・ 75歳以上の方 ・ 65歳以上75歳未満で、障害認定の申請により加入した方
保険証の期限	4月1日～翌年3月31日	8月1日～翌年7月31日
保険料 ※国保は保険税	平等割＋均等割＋所得割＋資産割を世帯単位で計算し、世帯主に課税されます。	被保険者個人ごとに、均等割＋所得割を計算します。
保険料の納め方	特別徴収 （年金天引き） 以下の条件が揃っている世帯主が対象です。 ・ 世帯の国保加入者が全員65歳以上 ・ 年金が年18万円以上 ・ 特別徴収されている介護保険料と国保税が年金の1/2を超えない場合 普通徴収 （年金天引きとならない場合） ①金融機関などの窓口で納付 ②口座振替	特別徴収 （年金天引き） 年金が年18万円以上で、介護保険料と後期高齢者医療保険料が年金の1/2を超えない方が対象です。 普通徴収 （年金天引きとならない場合） ①金融機関などの窓口で納付 ②口座振替 ※1
手続き	加入 ・ ほかの市町村から転入した時 ・ ほかの健康保険が切れた時 ・ 出生した時 ・ 生活保護を受けなくなった時 脱退 ・ ほかの市町村へ転出した時 ・ ほかの健康保険に加入した時 ・ 生活保護を受け始めた時	75歳の誕生日から自動的に被保険者になり、届出は不要です。※1 手続きが必要な時 ・ ほかの市町村から転入した時 ・ ほかの市町村へ転出した時 ・ 生活保護を受け始めた時 ・ 生活保護を受けなくなった時 ・ 75歳未満で障害認定による加入を希望する時
自己負担額	年齢や所得に応じて2割または3割 ※2	所得に応じて1割または3割
限度額認定証の期限	8月1日～翌年7月31日 年ごとに申請が必要です。	8月1日～翌年7月31日 年ごとの申請が省略される場合があります。

※1 国民健康保険の時に口座振替をしていますが、後期高齢者医療保険に加入後は再度の口座振替の手続きが必要です。

※2 70歳以上75歳未満は、同じ年齢でも所得や収入に応じて負担割合が異なります。

このほかにも不明な点などがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

○お問い合わせ【本 庁】住民課 国保係 ☎43-2800
 【佐賀支所】地域住民課 総合窓口第2係 ☎55-3112

ねんきん「コーナー」

社会保険料(国民年金保険料)
控除証明書の発行について

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において、全額が社会保険料控除の対象となります。

社会保険控除を受けるためには、納付したことを証明する書類の添付が義務付けられています。このため、平成31年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方へ、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」を11月上旬に日本年金機構本部から送付する予定としていますので、年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書または領収書を添付してください。

また、10月1日から12月31日までの間に今年初めて国民年金保険料を納付された方には、令和2年2月上旬に送付する予定です。

なお、ご家族の国民年金保険料を納付された場合も、納付された方の社会保険料控除に加えることができますので、ご家族あてに送られた控除証明書を添付のうえ申告してください。

同証明書については、左記にお問い合わせください。

○社会保険料(国民年金保険料)控除証明書についてのお問い合わせ

【年金加入者ダイヤル】

・ナビダイヤル

☎ 0570-003-004

・050から始まる電話からは

☎ 03-6630-2525

【受付時間】

・月～金曜日

午前8時30分～午後7時

・第2土曜日

午前9時～午後4時

・祝日(第2土曜日を除く)

午前8時30分～午後7時

※ナビダイヤルは、一般の固定電話からおかけになる場合は全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。ただし、携帯電話などからおかけになる場合は通常料金がかかります。

※「☎ 03-6630-2525」の電話番号におかけになる場合は、通常料金がかかります。

※間違い電話が発生していますので、おかけ間違いにはご注意ください。

○お問い合わせ

本庁住民課住基戸籍係

☎ 43-2800

佐賀支所地域住民課総合窓口第2係

☎ 55-3701

日本年金機構 幡多年金事務所

☎ 34-1616

住民票などへ旧姓(旧氏)の併記について

住民票に旧姓(旧氏)を併記するための請求手続きをすることにより、住民票などに旧姓(旧氏)が併記できるようになります。

◆旧姓(旧氏)を記載した場合

住民票、印鑑登録証、マイナンバーカードなどに現在の氏と旧姓(旧氏)の両方が記載されます。ただし、旧姓(旧氏)を省略した証明書は交付できません。また、旧姓(旧氏)での印鑑登録が可能になります。

◆旧姓(旧氏)が記載される利便性

各種の契約や銀行口座が旧姓(旧氏)のまま引き続き使えます。また、就職や転職など仕事の場面でも旧姓(旧氏)で本人確認ができるようになります。

◆旧姓(旧氏)併記の申請について

申請は本庁住民課、佐賀支所地域住民課で受け付けます。初回は

戸籍謄本に記載されている氏の中から1つ選んで併記できます。

◆申請するための準備物

・使用したい旧姓(旧氏)から現在の氏に記載されたすべての戸籍謄本

・マイナンバーカード

・マイナンバー通知カード(マイナンバーカードをお持ちでない方)

・本人確認書類(免許証、パスポート、マイナンバーカードなど)写真付きの公的な証明書がない場合、保険証と年金手帳などの2点のご提示で本人確認をします。

◆旧姓(旧氏)の併記をやめることができます

申請により旧姓(旧氏)を削除することが可能です。窓口で所定の届出書を提出してください。

再び併記を希望する場合は、氏が変更になった時に限り新たに生じた旧姓(旧氏)の中から1つ選ぶことが可能です。

○お問い合わせ

本庁住民課住基戸籍係

☎ 43-2800

佐賀支所地域住民課総合窓口第2係

☎ 55-3701

令和元年度幡多ブロック精神障害に関する研修会

高知県西南地域精神障害者家族会連合会が主催する研修会を開催します。今から100年前、精神疾患の人々が置かれていた現状を改善するために奔走した呉秀三さんのドキュメンタリー映画を見て、安心して暮らせることについて一緒に考えてみませんか。

◆日時

12月4日(水)

午後1時30分～午後4時(受付午後1時)

◆場所

四万十市立中央公民館2階大ホール
(四万十市右山五月町8番22号)

◆内容

・映画「夜明け前」上映会
・グループワーク

◆講師

高知県立精神保健福祉センター

山崎 正雄 所長

※申込締切は11月22日(金)です。

○お申し込み・お問い合わせ

幡多福祉保健所健康障害課

☎ 34-5124

ふせごうーなくそー！子ども虐待

11月は、「児童虐待防止推進月間」です。みんなで、地域で、子どもたちの笑顔を守りましょう。
オレンジリボンキャンペーンについて

「オレンジリボン運動」は子ども虐待のない社会の実現をめざす運動です。オレンジリボンはそのシンボルマークであり、オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。1人ひとりが「子育てにやさしい社会」を作ることが子ども虐待の予防につながります。オレンジリボンは子どもと家族を温かく見守り、子育てを応援する意思のあることを示すマークです。オレンジリボンの輪を広げ、みんなで子ども虐待のない社会を作っていきましょう。

○お問い合わせ

本庁健康福祉課福祉係

☎ 43-2124



くろしおこなかまの会(保護者交流会)の開催について

発達に関する不安や、障がいのある子どもがいる家庭を対象に、保護者交流会を開催します。楽しく保護者同士の交流を深めませんか。

◆日時

12月1日(日)午前10時～午後1時

◆場所

幡多青少年の家

◆対象者

小学生まで

・発達障害(自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠如・多動性障害など)もしくは、疑いのある子どもがいる家族。
・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの子どもがいる家族。

◆内容

パン作り、スノーボール作り、ミュージックケア

◆参加費

1家族 500円

◆申込期限

11月22日(金)

○お申し込み・お問い合わせ

本庁健康福祉課福祉係

☎ 43-2124

標準営業約款普及登録推進月間

公益財団法人高知県生活衛生指導センターでは、11月を「標準営業約款普及登録推進月間」として、消費者にSマークを知っていただくとともに、業者には登録を呼びかけています。

この標準営業約款制度は、生活衛生関係営業のうち、高知県では理容・美容・クリーニングの3業種で導入しています。厚生労働大臣の認めたルールに従って、安心・安全・清潔のサービスを提供しているお店をお知らせしています。

○お問い合わせ

高知県生活衛生営業指導センター

☎ 088-855-5100



高知県立林業大学の受験について

高知県立林業大学校では、林業、木材産業、木造建築の各分野で生涯に渡って活躍できる人材を全国から募集します。

◆募集人数

【基礎課程】 10名程度

【専攻過程】

- ・森林管理コース 5名程度
- ・林業技術コース 5名程度
- ・木造設計コース 5名程度

◆募集日程

11月18日(月)まで

◆選考日

11月30日(土)

研修期間は1年間で、チェーンソーや林業機械など実務が必要となる各種資格を取得可能です。詳しくはホームページをご覧ください。くか、左記までお問い合わせください。

【林業大学校ホームページ】

<https://kochi-forestry.ac.jp>

○お申し込み・お問い合わせ

高知県立林業大学校

☎0887-5210784

NET119緊急通報システムの運用開始について

11月9日(土)から、「NET119緊急通報システム」の運用が開始されます。これは、聴覚障がいや音声・言語機能障がいなどにより会話に不安のある方のための通報システムで、スマートフォンやタブレット端末を使い、画面タッチで119番通報ができます。なお、機種により対応できない場合がありますのでご相談ください。

◆対象者

聴覚障がい、音声・言語機能障がいなどにより119番通報に不安のある方、黒潮町に通勤・通学されている方

◆利用料

無料(端末の購入や通報時の通信にかかる費用は本人負担)

◆利用方法

システムの利用にあたっては事前登録が必要です。利用の相談や内容の詳細については左記までお問い合わせください。

○お問い合わせ

本庁健康福祉課福祉係

☎4312124

FAX 4312676

心配ごと・困りごと、人権・行政相談所の開催

皆さんの相談を社会福祉協議会相談員、人権擁護委員、行政相談委員などが受ける相談所を開きます。皆さんの心の負担が少しでも軽くなればと考えています。家庭での心配ごと、地域でのめんどごと、人権侵害や行政に関する相談など、ひとりでも悩まず気軽に相談ください。相談の秘密は必ず守り、料金は無料です。安心してお越しください(予約不要)。

◆日時・場所

・11月8日(金)

午前10時～正午

鞭集会所

午後1時30分～午後3時30分

保健福祉センター

・11月28日(木)

午後1時30分～午後3時30分

保健福祉センター

・12月3日(火)

午後1時30分～午後3時30分

総合センター

※11月8日(金)午後の相談所には、

行政書士もいます。

○お問い合わせ

佐賀支所地域住民課人権啓発係

☎5513113

全国防犯協会連合会長・警察庁長官連名表彰 防犯栄誉金賞

10月8日(火)に高知市で開催された「令和元年全国地域安全運動安全安心なまちづくりの日」高知県民のつどい」で上川口地区の安光平さんが表彰されました。

本表彰は、多年にわたり防犯活動に尽力し、犯罪の防止に抜群の功労があったと認められる方へ送られ、安光さんは平成6年11月に中村地区地域安全推進員に委嘱され、25年間地域の安全安心に努めてこられました。現在では中村地区地域安全推進協議会参与として地域の安全安心を守っています。

安光さんは、「この表彰を契機として、これからも健康に留意し、なお一層地域の安全と安心のため努力したい」と今後について意気込みました。



表彰を受ける安光さん(右)

名勝入野松原・周辺海岸一斉清掃

名勝入野松原および周辺海岸の一斉清掃を、入野松原保存会が主催し開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

◆日時

11月17日(日)

午前8時～午前10時

◆集合場所

海のバザール・宮川公園・大方球場東駐車場・大規模公園鞭駐車場海岸降り口・浮津海水浴場駐車場

◆清掃場所

入野松原・入野海岸・浮鞭海岸周辺

※ゴミ袋、軍手は事務局で準備します。

※昨年度に引き続き「あったか高知。秋のおもてなし一斉清掃」の一環として位置づけて実施いたします。

○お問い合わせ

入野松原保存会事務局
(本庁産業推進室)

☎43-2113

黒潮町プレミアム付商品券販売中

◎販売期間：令和2年2月28日(金)まで
(土日・祝日および年末年始は除きます。)

◎販売場所：本庁1階・佐賀支所1階
プレミアム付商品券窓口

◎販売時間：午前9時～午後5時
(正午～午後1時は除きます。)

◎使用可能期間：令和2年3月31日(火)まで

◎使用可能店舗：店舗一覧は、購入引換券送付の際に同封しているほか、黒潮町ホームページにも掲載しています。



非課税者分の購入対象者の方

8月上旬に、購入の際に必要な購入引換券の交付申請書をお送りしていますが、まだ申請されていない方には再度申請書をお送りしました。商品券の購入を希望される方は申請書の提出をお願いします。

申請内容を確認した後、商品券購入引換券をお送りします。

★商品券は、1セット(商品券5千円分：千円×5枚つづり)を4千円で販売しています。1セットから最大5セット2万円(商品券2万5千円分)まで、ご希望のセット数を購入できます。

○お問い合わせ 佐賀支所 海洋森林課 商工係 ☎55-3115

列車に乗って とさくろサイクリング

土佐くろしお鉄道中村・宿毛線自転車混乗試験実施中

県西南部の幡多地域および四万十川流域で気軽にサイクリングをお楽しみいただけるよう、土佐くろしお鉄道中村・宿毛線の一部の普通列車に自転車をそのまま持ち込める混乗試験を実施しています。

- ◆実施期間 11月30日(土)まで
- ◆実施区間 土佐くろしお鉄道中村・宿毛線(窪川～中村～宿毛)
- ◆実施乗降駅 各線各駅
- ◆運行対象列車 上り9本、下り8本(一部途中駅まで)
- ◆積込み台数 5台まで(持ち込み自転車の種類制限有り)
- ◆利用料金 1台につき100円(事前申込制、ご利用日曜日午後5時まで)



©やなせ たかし



○お申し込み・お問い合わせ 土佐くろしお鉄道 中村駅 ☎35-4961

黒潮町イベントカレンダー 2019(令和元)年11・12月

変更となる場合がありますので、詳しくは担当係にお問い合わせください。

青字＝町外で開催される行事

月日(曜)	行 事 名	場 所	時 間	お問い合わせ
15(金)~18(月)	第25回潮風のキルト展	入野松原	10:00	砂浜美術館 ☎43-4915
16(土)	黒潮町民大学 第3講座 講師 天達武史さん	総合センター	18:30	生涯学習係 ☎43-0044
17(日)	秋のウォーキング2019(事前申込制)	宿毛市沖の島	5:30(集合時間)	
19(火)	2019年度 黒潮町人権教育推進講座 第1講座	佐賀町民館	10:00	人権教育係 ☎43-0044
30(土)	上川口マルシェ	上川口小学校	11:30	上川口小学校 ☎44-1127
	黒潮町民大学 第4講座 講師 和田行男さん	総合センター	10:00	生涯学習係 ☎43-0044
12/8(日)	幡多・マーケット「海辺の日曜日市」	土佐西南大規模公園(大方)	9:00	まちづくりマーケットプロジェクト ☎090-2786-3702
	若山楮の蒸し剥ぎ・へぐり体験	若山楮和紙工房	9:00	佐賀北部活性化推進協議会 ☎55-7272
17(火)	2019年度 黒潮町人権教育推進講座 第2講座	大方町民館	10:00	人権教育係 ☎43-0044

土佐西南大規模公園(大方地区)スポーツイベント・大会予定 11月



月日(曜)	行 事 名	場 所
16(土)	四万十市民体育祭(中学生ソフトテニス)	テニスコート
16(土)・17(日)	第15回くろしおサッカー大会(シニア)	多目的芝生広場・多目的運動広場
17(日)	土佐西南黒潮パークゴルフ協会 黒潮町町長杯	パークゴルフ場
19(火)	高体連幡多支部 駅伝大会	体育館前スタート 公園内園路
23(土)	高知銀行 子どもサッカー教室	多目的芝生広場
	第15回U-15四国地区トレセンサッカー大会(中学)	多目的運動広場
24(日)	県リーグ(女子サッカー)	多目的芝生広場
	四万十市民体育祭(小学生ソフトテニス)	テニスコート
30(土)	県リーグ(高校サッカー)	多目的運動広場

観覧は自由です。お誘い合わせの上、ご来場ください。天候などの都合により変更、中止する場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

【場所について】・多目的運動広場(人工芝グラウンド)・球技場(天然芝グラウンド)

・多目的芝生広場(陸上競技場天然芝グラウンド)

○お問い合わせ 高知県立土佐西南大規模公園体育館事務所 ☎43-0166

上川口マルシェ ワイワイにこここ上川口

日時：11月30日(土) 午前11時30分～午後1時30分

場所：上川口小学校・校庭(雨天時は体育館)

上川口小学校6年生が「地域を盛り上げたい」と企画した「上川口マルシェ」。飲食店や雑貨店などさまざまなお店が並びます。当日は、上川口小の各学年も出店し、6年生が運営するカフェでは、「くろしお丸 朝日たっぷりランチ」などを用意します。お楽しみに。

多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

○お問い合わせ 上川口小学校 ☎44-1127

校庭をお店と
お客さんでいっぱい
にして、みんなが
笑顔でつながりたい!



くろしおっ子の学校給食

カルピスゼリー



材料(4人分)

カルピス(原液) 40g
水 200g(1カップ)
ミカン缶詰 4房
砂糖 12g(大さじ1)
アガー 12g(大さじ1弱)
ゼリーカップ 4個

アガーは、ゼラチンや寒天などと同じ水溶液を固める性質をもったものです。ゼラチンはコラーゲン、寒天はテングサやオゴノリといった海藻からできていますが、アガーはカラギーナンという海藻やマメ科の種子の抽出物からできています。無味無臭で透明感があり、固まり具合はゼラチンと寒天の間くらいのプルプルとした食感に仕上がります。子どもたちに好評だったカルピスゼリーですので、家庭でもぜひ作ってみてください。

〔作り方〕

- ①砂糖とアガーを合わせる。
- ②ゼリーカップにミカンを1房ずつ入れて準備しておく。
- ③分量の水を火にかけて①を加えて溶かし、砂糖とアガーが溶けたら火を止め、カルピス(原液)を加えて混ぜる。
- ④③でできあがったゼリー液をゼリーカップに注ぎ入れ、冷蔵庫で2時間ほど冷やし固める。

〇お問い合わせ

大方学校給食センター ☎31-3201

佐賀学校給食センター ☎55-2166

土佐西南黒潮PG協会 じいんず工房大方杯

日時:10月20日(日) 午前9時

場所:土佐西南黒潮パークゴルフ場

成績	氏名	A-1	B-1	小計	A-2	B-2	小計	合計	HC	総計
優勝	橋田香苗	26	25	51	24	26	50	101		101
準優勝	佐田幸一	27	23	50	28	27	55	105	-2	103
3位	尾崎良二	27	26	53	27	26	53	106		106
4位	尾崎 進	27	26	53	26	27	53	106		106
5位	田中誠二	26	27	53	26	27	53	106		106
6位	植野忠美	28	28	56	26	26	52	108		108
7位	山崎利恵	28	28	56	28	28	56	112	-4	108
8位	井上梅香	27	30	57	27	29	56	113	-4	109
9位	峰岸広美	29	25	54	27	29	56	110		110
10位	鍋島正三	29	27	56	29	26	55	111		111

ベストスコア: Aコース 24点 — 植野和文、橋田香苗

Bコース 23点 — 佐田幸一

ホールインワン: Aコース 4番 峰岸広美

Bコース 9番 橋田香苗

※総合計同点の場合は、カウントバック方式とする。

※カウントバックの優先順位は、合計・計・2小計・B2・A2・1小計・B1・A1とする。



黒潮町ケーブルテレビ 11月番組予定表

芸術の秋!吹奏楽や小中学校音楽祭を放送

番組	放送時間
IWKTV番組 ※NEWSや役場のお知らせ、イベントの様子などをお届けします。	7:00 10:00 12:00 15:00 18:00 20:00
Kochi on TV!	14:00 20:00
片さんのFish!おふ	23:00
幡多サイクル紀行	8:35 11:35 13:35 16:35 19:35 22:35
月間アニマルズ	8:45 11:45 13:45 16:45 19:45 22:45
昭和南海の記憶	6:45 23:45
高齢者寺子屋	6:00
ショッピングチャンネル	9:00 17:00 24:00~6:00

IWKTVの放送時間・番組などに関するお問い合わせは
本庁 情報防災課 情報推進係 または
IWKTV制作室まで

【情報推進係】 ☎43-2188

【IWKTV制作室】 ☎43-0500

番組内容の更新は、毎週水曜日の18:00です。

お知らせ

◆芸術の秋!町内中学校による定期演奏会や
小学校・中学校合同で行われる、黒潮町小
中学校音楽祭をお届けします。

※放送予定は変更となる場合があります。

◆黒潮町地区防災計画シンポジウム
~我がこととして感じる手作りの防災計画~
11月5日は【世界津波の日】です。

地域の取組や佐賀中学校・大方高校の実践報告や「学校と連携した地区防災計画」と題して行われるパネル
ディスカッションなどのようすをお届けします。

※放送予定は変更となる場合があります。あらかじめご
了承下さい。

詳しくは電子番組表でもご確認いただけます。

※放送内容などは予告なく変更する場合があります。「電子番組表」で正確な内容が確認できます。

IWKTV加入・放送に関する不具合などのお問い合わせは

営業時間 9:00~17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

【光ネットワークセンター】

☎0800-200-1373

くろしお協力隊に聞く



【今月の地域おこし協力隊】
観光ネットワーク担当
やまもと まこと
山本 誠

❶ 黒潮町観光ネットワークでのお仕事はどんなことをしていますか？

町内の観光資料の作成やデータまとめなどの事務作業を行ったり、県外で実施されるイベントへ出展し、町の観光PRを行うこともあります。大阪で9月に開催された「高知フェアin海遊館」では、子ども向けのワークショップをすることで、保護者も一緒に巻き込んでアピールができたように思います。出展していた13団体の中でも黒潮町のブースは賑わっていましたよ。

❷ 1月に来町してから約9カ月が経ちましたが、改めて感じることなどはありますか？

地方の自治体は素材が無いように思われがちですが、黒潮町は素晴らしい資源や魅力ある人に恵まれていると思います。事務所（ビオス大方情報館内）にいとよく思いますが、こんなに県外ナンバーの車を見る町は少ないんじゃないですかね。町の観光資源を磨き上げ、今以上に知ってもらえるように、尽力に努めたいです。



イベントでワークショップを行う
山本さん(写真左)

❸ 今後の目標は？

「これをするんだ」という明確なものはなかったのですが、この町が元々持っている素材を活かすお手伝いができればと黒潮町にやってきました。まだまだ9カ月。知らないこともたくさんあるので、その素材の魅力をさらに掘り出しながら、より多くの人に訪問してもらえる町にしていきたいです。

協力隊から一言！

より多くの観光客の方にお越しいただけるよう
頑張ります！

取材の詳細や裏話は町公式Facebook (@9640town) に掲載します。ぜひご覧ください。

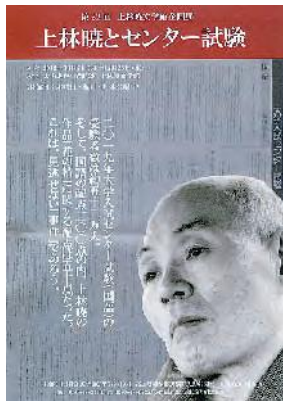
＜水道給水工事指定店 当番一覧表＞

月	日	水道給水工事指定店		
11	1～3	前田電工	大西設備	山本建設(株)
	4～10	クロシオライフラインサービス	平野住設	(有)弘瀬建設
	11～17	吉本水道工務店	野村企画設備	拳ノ川住設
	18～24	(株)中村住設	村越設備	(有)西部総建
	25～30	前田電工	大西設備	(株)土居建設
12	1	前田電工	大西設備	(株)土居建設
	2～8	クロシオライフラインサービス	平野住設	山本建設(株)
	9～15	吉本水道工務店	野村企画設備	(有)弘瀬建設
	16～22	(株)中村住設	村越設備	拳ノ川住設
	23～28	前田電工	大西設備	(有)西部総建
	29	クロシオライフラインサービス	平野住設	(株)土居建設
	30	吉本水道工務店	野村企画設備	山本建設(株)
	31	(株)中村住設	村越設備	(有)弘瀬建設

● 当番店の連絡先・所在地 ※当番日以外でも要請があった場合には対応します。

店名	住所	電話番号		店名	住所	電話番号	
		事務所	自宅			事務所	自宅
クロシオライフラインサービス	入野1769	43-3075		吉本水道工務店	下田0822-174	43-2024	
前田電工	入野1574	43-1149	43-1546	拳ノ川住設	拳ノ川1781	55-7371	55-7114
村越設備	入野292-19	43-3225		(有)弘瀬建設	佐賀1990	55-2121	
(株)中村住設	出口372-2	34-3621	43-2061	山本建設(株)	佐賀2988	55-3141	55-2076
野村企画設備	田野浦1593	43-4665		(有)西部総建	伊与喜38-2	55-2825	
平野住設	伊田2100	44-1513	44-1117	(株)土居建設	伊与喜43-5	55-2133	55-2363
大西設備	浮鞭2083-2	31-3277					

○お問い合わせ 佐賀支所 建設課 水道係 ☎55-3700



期間：12月25日(水)まで
会場：大方あかつき館2階 上林暁文学館

「上林暁とセンター試験」

第32回上林暁文学館企画展

■2019年大学入試センター試験(国語)の受験者は52万人。そして、国語の配点200点のうち、上林暁の作品「花の精」に関する配点は50点だった。これは、見逃せない「事件」だ。



「秋の名画座」

日時：11月9日(土) 会場：大方あかつき館
●午前10時～正午(キタキツネ物語)
●午後1時30分～午後4時(家康、江戸を建てる)
(入場無料：定員210名先着順/開場は30分前)



11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7

※11月29日(金)は館内整理日です。

大方・佐賀図書館
(○の日は休館日です。)

図書館カレンダー



新しく入った本紹介

- 死にゆく者の祈り 中山 七里/著
- 縁 小野寺 史宜/著
- かっこいい福祉 村木 厚子/著
- 地図帳の深読み 今尾 恵介/著
- 動かないゼロトレ 石村 友見/著
- 日々のかっぽう着 ブティック社/出版
- 井上陽水英訳詩集 ロバート・キャンベル/著
- ヤービの深い秋 梨木 香歩/著
- おしりたんてい ラッキーキャットはだれのてに! トロル/作・絵
- おやさいしろくま 柴田 ケイコ/作・絵

- 開館時間
【月・火・水・金】
午前10時～午後6時
※文学館は午前9時30分開館
【土・日】
午前10時～午後5時
※文学館は午前9時開館
※佐賀図書館は午後1時から午後2時まで閉館。
木曜日・祝日は休館日です。
- 貸出冊数・期間
【本】
1人5冊・2週間
【雑誌】
1人3冊・2週間
【ビデオ・CD・DVD】
1人2点・1週間
- 返却するとき
佐賀・大方どちらの図書館でも返却ができます。
休館日に返却する時は各図書館にあるブックポストに入れてください。
ビデオ・CD・DVDは開館時の受付窓口へ返却してください。
- ★返却期限をお守りください。
返却期限を過ぎると督促を行い、その後貸出停止の処理を行います。
- ★借りた本やビデオなどを紛失や破損した場合は、弁償していただく場合があります。
- お問い合わせ
大方図書館 ☎43-2110
佐賀図書館 ☎55-3150

<http://akatsuki.town.kuroshio.lg.jp/pb/cont/akatsuki>

黒潮町公式 SNS



フェイスブック
@9640town



ツイッター
@kuroshio_town



インスタグラム
@kuroshio_town



2019年10月19日インスタグラム掲載

Please follow us

わがまちデータ

人 口	11,162人(前月比11人減)
男	5,349人
女	5,813人
世 帯 数	5,518世帯
増 加	出 生 6人(男4人・女2人)
	転 入 11人(男3人・女8人)
	その他 0人
減 少	死 亡 14人(男7人・女7人)
	転 出 14人(男5人・女9人)
	その他 0人

2019(令和元)年9月30日現在